

[説明資料(提出ファイル)] 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDFに変換した後, web提出フォームにて提出する。

個人・グループ名	静大木工倶楽部	大学名	静岡大学
作品名	鮑屑を用いた折り紙教材	人数	4名

背景・目的

古来から継承されてきた『木工の華』、**かな掛けの技術**と日本の伝統文化である**折り紙**のコラボレーション！
日本の伝統技術を実感し、天然ヒノキの香りとぬくもりを感じさせる鮑屑を用いて行う折り紙で、子どもたちが美しさを追求する伝統の美を楽しむことを目的として本教材を提案する。

かな掛け

幅30mm、長さ600mm程度の節の無いヒノキの追証材を材料に用いる。水にぬらした布などで、木材の表面に水分を含ませ、鮑掛けをすることで紙の厚さ程度の鮑屑を作る。



鮑屑

しっかりと裏金を効かせて削った鮑屑はロール状になる。

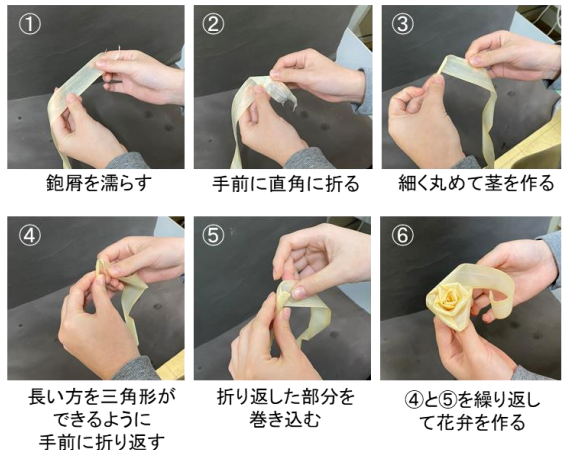


かな屑を用いた折り紙「バラづくり」

1枚の鮑屑が立体的なバラに！



製作手順



バラの作品例

鮑屑の浸水時、色水に浸けることで、繊維が色素を吸い上げ作品に着色することができる。また、芳香剤を浸透させることで作品に着香することもできる。

大学や特別支援学校中学部にて実践を行った際には、バラをボールのように束ねたり、余った鮑屑をまきつけたりと工夫して製作を行っている様子が見られ、**好評を得た。**



バラ以外の作品例

バラ以外にも、折り紙のように手裏剣やバネなども製作可能である。また、鮑屑を棒状の物に巻いて飲み口を固定することで木製のストローを作ることができる。

